

【投資に関する実態調査】

フィンテックで多様化・分散化する20代、30代の投資傾向 ソーシャルレンディングは20代の74%が関心を示す これからの投資方法は「少額投資」、「スマホで投資」がポイント

不動産特化型クラウドファンディング『OwnersBook』を運営するロードスターキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岩野達志、以下当社）は、20代～60代の男女600人を対象に、投資に関する調査を実施しました。

調査の結果、20代は約1割がフィンテック投資（ソーシャルレンディング・ビットコイン・ロボアドバイザー）の投資経験を有していることがわかりました。また、ソーシャルレンディングについては7割以上が興味があると答えています。

フィンテックによりスマホで様々な商品に少額から投資可能になったことから、若年層を中心に新しい投資への関心が高まっています。2017年に入り、中高年層にもソーシャルレンディング投資が拡大しつつある傾向が見られており、フィンテック投資が更に浸透する一年になると考えられます。

■ 調査結果サマリ

【20代、30代の特徴】

- ・ 20代の**59%の人が、直近半年間で10万円以上資金を追加**。
- ・ 投資の目的は、結婚資金や教育費などの新婚期から子育て期のライフステージに応じたものが多い一方、20代の**40%にのぼる人が老後の生活資金を目的として投資**している。また、資産の分散や節税、勉強のためといった意識の高さも特徴。
- ・ **少額投資、積立投資**ができる商品のニーズが高く、**スマホやアプリ対応**を求める声が多い。
- ・ 20代はフィンテック投資も含めて最も投資対象を分散化している。
- ・ 投資リターンは若年層ほどプラスになる傾向。**20代は79%の人がプラスと回答**。
- ・ ソーシャルレンディングについては**20代の74%の人が興味ありと回答**。

【40代以上の特徴】

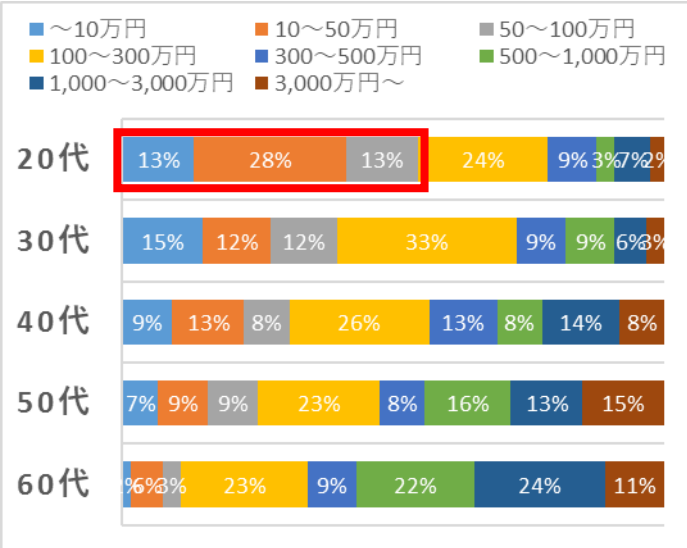
- ・ 年代が上がるにつれて、投資の目的は**老後の生活資金目的**が増加。
- ・ 60代はいつでも解約ができる**流動性の高い商品**を好む傾向。
- ・ 投資対象は**株式や投資信託など伝統的な商品**に集中している。

【年代共通の特徴】

- ・ 投資の目標とする**年間利回りは約5%**。
- ・ 通算の投資リターンは全世代で**60%以上**の人がプラスになっている。

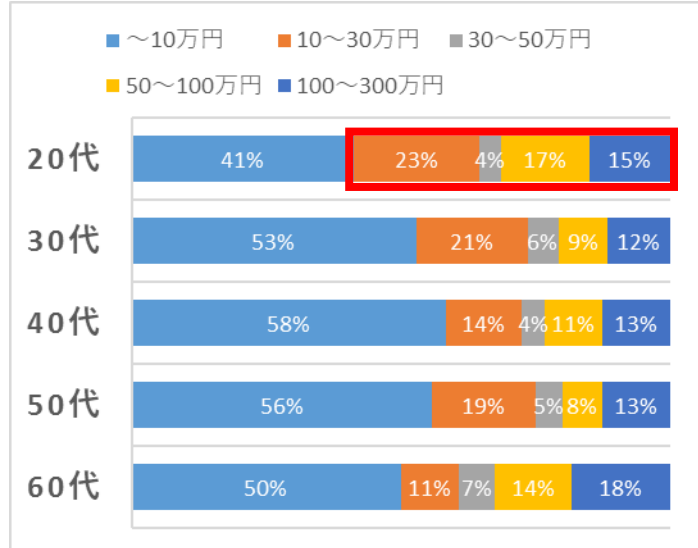
① 投資家の投資額分布

- ・ 20代は54%の人が投資額100万円未満。



② 直近半年の追加資金

- ・ 20代は59%の人が、直近の半年間で10万円以上資金を追加。

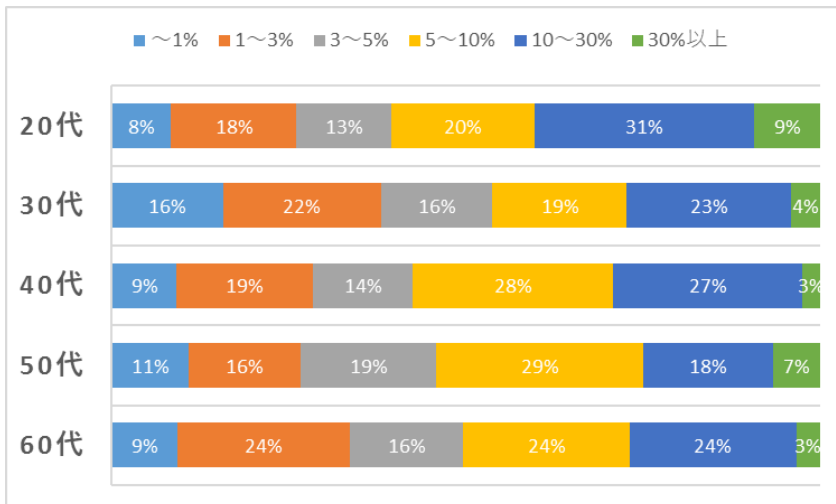


①②に関する考察：

20代は30代以上と比較すると投資総額は少ないが、追加資金は同水準以上。
投資のモチベーションは高いが資金力を鑑みると少額投資のニーズが強いと考えられる。

③ 投資の目標年利回り

- ・ 中央値は各世代5.0%前後で大きく変わらない。



	平均値	中央値
20代	13.1%	5.0%
30代	9.2%	3.0%
40代	6.5%	5.0%
50代	11.6%	5.0%
60代	9.0%	5.0%

③に関する考察：

投資家の目標年利回り5%は、ソーシャルレンディングとの親和性が高い。

④投資の目的

- ・ 20代、30代は結婚資金や教育費など新婚期から子育て期のライフステージに応じた目的が多い。
- 一方で、20代ながら既に老後の生活に備えて投資している人も40%にのぼる。また、資産の分散や節税、勉強のためといった意識の高さも20代、30代の特徴。
- ・ 年代が上がるにつれて、投資の目的は老後の生活資金目的が増加。

	20代	30代	40代	50代	60代
長期の資産形成のため	74%	72%	77%	71%	62%
短期的な利益を得るため	40%	31%	34%	31%	21%
老後の生活資金のため	40%	31%	40%	54%	55%
子供の教育費のため	18%	12%	8%	8%	0%
結婚資金のため	13%	9%	2%	1%	0%
旅行やレジャー資金のため	24%	17%	21%	17%	23%
子供や孫に資産を残したり贈与するため	10%	5%	3%	8%	10%
節税のため	12%	10%	5%	4%	4%
資産を分散させるため	30%	23%	21%	19%	18%
勉強のため	14%	12%	13%	6%	5%
株主優待を得るため	20%	17%	25%	21%	25%
その他	1%	0%	0%	2%	0%

④に関する考察：

賃金上昇の鈍化や年金制度が不透明化しつつある昨今、将来を見据えた資産形成の必要性や意識の高まりが若年層に広まっており、貯金から投資への資金移動が拡大していくことが考えられる。

⑤投資の傾向

- ・ 20代、30代は少額投資、積立投資ができる商品のニーズが高く、スマホやアプリ対応を求める声が多い。
- ・ 60代はいつでも解約ができる流動性が高い商品を好む傾向。

	20代	30代	40代	50代	60代
元本割れのリスクが低い	61%	56%	55%	52%	59%
リターンの期待値が高い	36%	38%	47%	45%	42%
1万円程度の少額から投資できる	42%	41%	34%	28%	19%
ネットで手続きや確認ができる	36%	34%	39%	36%	26%
スマホ・アプリに対応している	24%	21%	14%	5%	4%
いつでも解約できる	22%	20%	23%	27%	30%
積み立てで投資できる	21%	17%	17%	12%	7%
手数料が低い	37%	41%	54%	57%	43%
運用の手間がかからない	25%	17%	31%	30%	29%
日々の変動が少ない	11%	6%	7%	9%	5%
その他	0%	0%	1%	3%	1%

⑥過去に投資したことがある、もしくは現在投資している商品

- ・ 60代の投資対象は、株式や投資信託などいわゆる伝統的な投資商品に集中している。
- ・ 20代は、フィンテック投資も含め投資商品を最も分散させている。

	20代	30代	40代	50代	60代
株式	59%	72%	68%	71%	77%
投資信託	46%	45%	53%	58%	56%
J-REIT	11%	11%	12%	16%	8%
FX	29%	20%	21%	15%	10%
実物不動産	11%	2%	3%	7%	7%
公社債	12%	9%	12%	15%	13%
外貨預金	13%	17%	16%	24%	19%
IPO投資	7%	6%	3%	5%	5%
外国株	10%	3%	6%	15%	4%
確定拠出年金	9%	11%	8%	13%	3%
ソーシャルレンディング	5%	1%	1%	3%	0%
ビットコイン	7%	0%	1%	2%	0%
ロボアドバイザー	2%	1%	0%	1%	2%
その他	2%	1%	1%	3%	3%

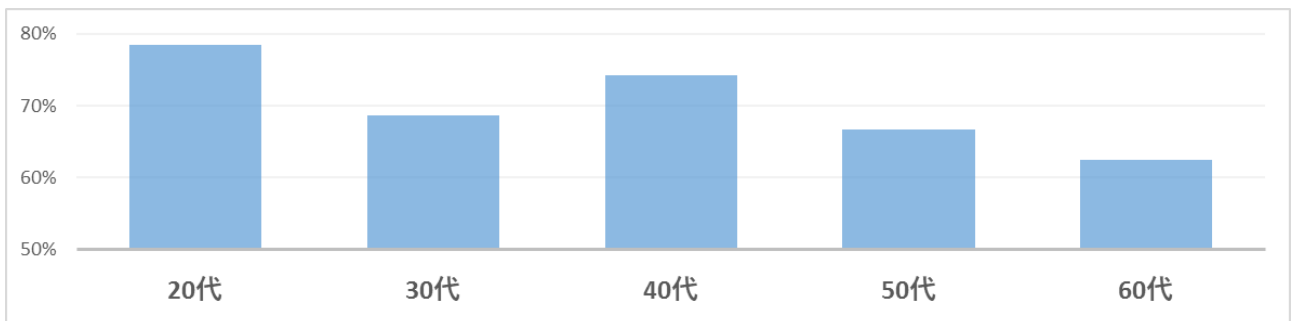
⑤⑥に関する考察：

スマホネイティブ世代の20代は情報感度が高く、新しい投資に関して積極的で少額から積立、分散投資を意識している。

60代が株式や投資信託が多い理由は窓口や電話を通じた取引が主流だったことが考えられる。また、老後の生活資金や相続が主な目的になるため、解約時期をコントロールできる商品の人気が高い。

⑦通算の投資リターンがプラスの割合

- ・ 全世代で60%以上の方が通算の投資リターンがプラスになっている。
- ・ 若年層ほど投資リターンがプラスになる傾向。20代は79%の人がプラス。

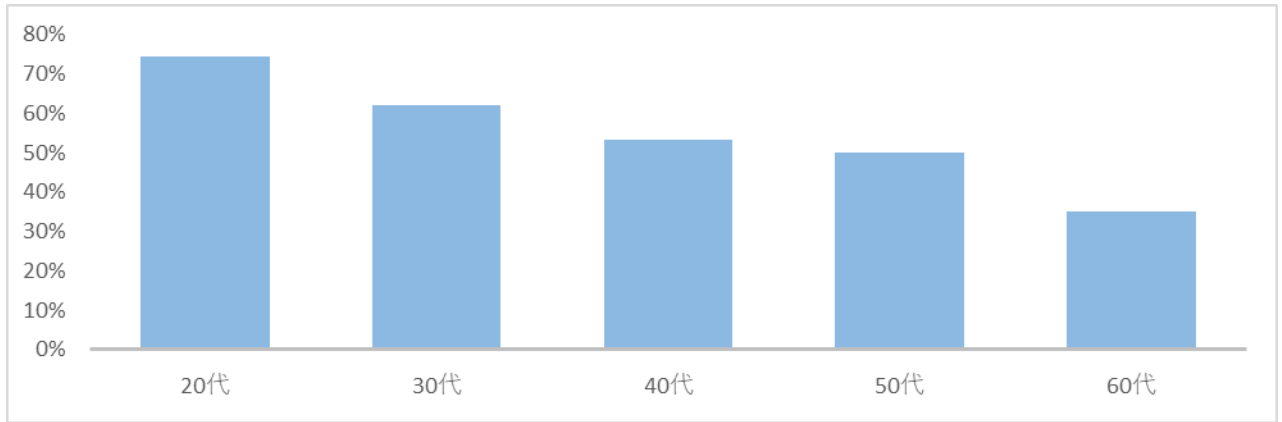


④⑤⑥⑦に関する考察：

スマホネイティブ世代の20代はマネーリテラシー向上のモチベーションが高く、長期の資産形成を念頭に分散投資している。結果的に投資の三原則の「分散、長期、複利」を実行する形となり、通算でプラスになる傾向が出ていると考えられる。

⑧ソーシャルレンディングの興味・関心

- ・50代以下の年齢層で半数以上の方がソーシャルレンディングに興味を持っている。
- ・特に若年層は高い数値になっており、20代は74%の人が興味ありと回答。



⑨OwnersBookの投資家増加数

2015年

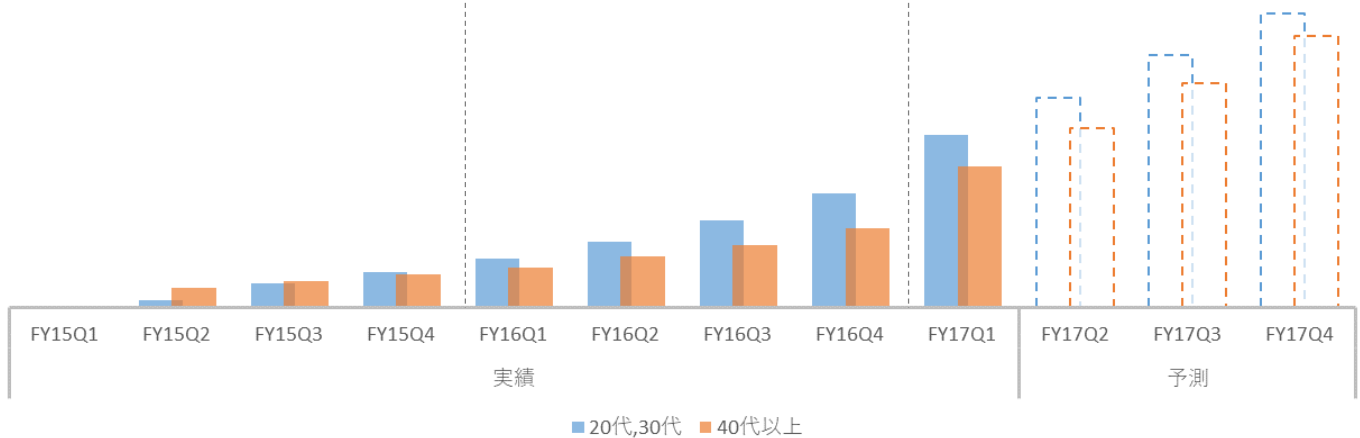
イノベーター期
一部の大口投資家層中心

2016年

アーリーアダプター期
情報感度が高い20代、30代
を中心に投資家が増加

2017年

アーリーマジョリティー期
40代以上も含め、
全世代の投資家が増加



⑧⑨に関する考察：

- ・2015年までのソーシャルレンディングは、株式や投資信託、実物不動産、J-REIT等の既存投資商品に投資をしている大口投資家が分散投資先の一つとして選択していた。
- ・2016年になると、THEOやウェルスナビがリリースされる等、投資領域におけるフィンテックが徐々に拡大。若年層はいち早く反応。
- ・2017年に入り、40代以上の中高年層にも徐々にソーシャルレンディングが広まりつつある。

調査対象

- ▶ **対象条件**：投資をしたことがあると回答した、20代から60代の男女
- ▶ **実施期間**：2017年3月30日
- ▶ **調査方法**：インターネットを利用したアンケート調査
- ▶ **有効サンプル数**：600 サンプル

1万円からの不動産投資『OwnersBook』について

『OwnersBook』は、2014年9月に日本で初めて不動産に特化したクラウドファンディングとして誕生しました。Fintechと不動産テックの両分野にまたがるサービスで、迅速かつ丁寧なシステム開発を志向しIT関連業務を内製化していること、全ての案件に対して実際に一口1万円からの投資が可能であることなどが特徴です。

利回り（年換算）が5%～6%程度の案件が中心であること、全ての案件が不動産鑑定士をはじめとした不動産投資のプロが厳選した不動産担保付のものであること、今まで全ての案件が満額で成立していること、そしてサービス開始より貸し倒れが発生した案件がないことなどにより、着実に投資家の皆様の信頼を得て、会員数・累計投資額ともに順調に成長を続けています。



URL : <https://www.ownersbook.jp/>

ロードスターキャピタル株式会社について

運営会社のロードスターキャピタル株式会社は自ら不動産投資を行いながら、不動産仲介・コンサルティング業務、アセットマネジメント業務などを行う総合不動産企業です。

【会社概要】

社名 : ロードスターキャピタル株式会社
URL : <https://loadstarcapital.com/>
所在地 : 東京都中央区銀座2-6-16 ゼニア銀座ビル6階
代表者 : 代表取締役社長 岩野 達志
資本金 : 5億4,955万円（資本準備金とあわせて10億8,910万円）
事業内容 : 不動産特化型クラウドファンディング業務、コーポレートファンディング業務、不動産仲介・コンサルティング業務、アセットマネジメント業務

社長プロフィール

岩野達志（代表取締役社長）



東京大学農学部卒。一般財団法人日本不動産研究所にてキャリアをスタートし、不動産鑑定業務に従事。2000年よりゴールドマン・サックス・リアルティ・ジャパンにて自己投資・運用ファンドの不動産取得部門、2002年以降はアセットマネジメント部門。2004年からロックポイントマネジメントジャパンLLC ディレクターとしてエクイティ500億円以上、案件総額3,000億円以上を実行、ロックポイントグループの日本における不動産投資業務をリード。不動産鑑定士、宅地建物取引士。